

条幅部自由参考

9月25日正午必着

明石春浦先生書



谷静かなれば泉逾響

(王維)

山深ければ日斜めなり易く、谷静かなれば泉聲もまたよくひびく。

三浦士岳先生書



夕陽數峰遠。
煙外有鐘聲。

霽靄江南思。
山僧獨歸寺。

(高青邱)

入日の中に數峰遠く見え、江南を思ふ心は、霽靄として、
はてもない位。折から、入相の鐘は煙外に聞こえ、そし
て、山僧の獨り寺に歸って行くのが見える。

9月25日正午必着

叶 澄石先生書



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

清風入梧竹^一（楊師道）

清風梧竹に入る

すずしい風が梧（きり）や竹にそよぐ。

一燈幽館菊花雨
孤枕小樓梧葉風^{（真山民）}

一燈幽館菊花の雨、
孤枕小樓梧葉の風。

ものさびた住居のともしびのもと、菊花にふる雨をながめ、ひとりねの小楼に梧葉に吹く風をきく。

送友人歸^二宜春^一（張喬）

友人の宜春に帰るを送る 張喬

落花兼柳絮^一 無處不紛紛^二

落花 柳絮を兼ね 処として紛紛たらざるは無し

遠道空歸去 流鶯獨自聞

遠道 空しく帰り去り 流鶯 独自聞く

野橋喧碓水 山郭入樓雲

野橋 碓に喧しき水 山郭 楼に入る雲

故里南陵曲 秋期更送君

故里 南陵の曲 秋期 更に君を送らん

黄昏の霧たちこむる 秋の田のくらきが方へ 鴨鳴きわたる （長塚 節）

半紙部規定課題A

9月25日正午必着

共而
止今
端憶

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書

而今憶
共歸

隸書

而今憶
共歸

明石春浦先生書

草書

而今憶
共歸

行草書

而今憶
共歸

まったく羨ましい、君は身の雑事にわずらわされることなく 日々に、世俗のおもいから遠ざかっていられるのだから
辺鄙なところに住んでいるので、人はめったにやってくる来ないし 谷間の奥深きところ、鳥はおのがじし飛びめぐる
蓮の葉の老いたるをとって儒服とし 葉草の苗の肥えたのをとって、粗末な食事をされる
もしも湖のほとりに隠棲するつもりがあるのかとおたずねならば いまも共に帰隠しようとする思いを忘れてはいない
(と答えましよう)

寄「邪逸人」

鄭常

羨君無外事

日與世情違

地僻人難到

溪深鳥自飛

儒衣荷葉老

野飯藥苗肥

若問湖邊意

而今憶共歸

邪逸人に寄す

鄭常

羨む 君が外事無く

日に世情と違うことを

地僻にして 人到り難く

溪深くして 鳥自ら飛ぶ

儒衣 荷葉老い

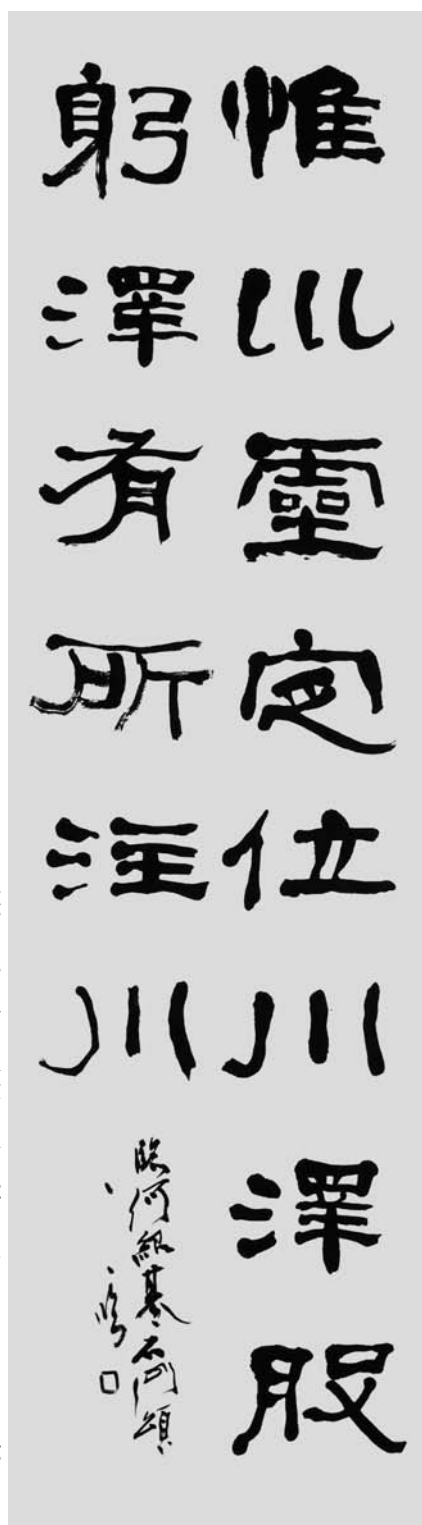
野飯 藥苗肥ゆ

もし湖辺の意を問わば

而今 共に帰らんことを憶う

惟坤靈定位 川沢躬 其南
 川通注躬位惟
 其餘川澤川川
 澤谷有有澤靈
 南之所所股定

惟坤靈定位、川沢股躬、沢有所注、川有所通、余谷之川、其沢南
 惟れ坤靈 位を定め、川沢 躬を股つ、沢は注ぐ所有り、川は通ずる所有り、余谷の川、其の
 沢は南に



惟れ坤靈 位を定め、川沢 躬を股つ、沢は注ぐ所有り、川は…

位を(定め) 川沢 躬を股つ、



清 何紹基・臨石門頌

何紹基(嘉慶四年・一七九九〜同治十二年・一八七三年)は、湖南省道州の生まれで、字は子貞、号は東洲、晩年には瓊叟と号した。幼い頃は母方の里に預けられ、八歳で北京に上り父母と暮らした。父の何凌漢は戸部尚書(大蔵大臣)にまでなった人で、学問好きで教育熱心であったため、彼は恵まれた環境のもと博い教養を身につけていった。

三十七歳で進士に及第し翰林院に奉職した。その後各職を歴任したのち五十七歳で野に下り、七十五歳の時病に倒れ、蘇州で没した。彼の書の根底にあるのは顔真卿で、最も強い影響を受けた。しかし、阮元・包世臣との出会いによって碑学に目覚め、漢碑や北魏の書の臨模に没頭した。各体を能くしたが、いずれの体も自己の世界に引き込み、形を似せることにのみ捉われず、自らの性霊をもって筆を揮い、独自の書風を形成していった。

この臨石門頌は、百本を超えると言われる張遷碑に次いで多く臨書したと言われている。彼の独特な書の世界を堪能したい。(春濤)

9月25日正午必着

教育部毛筆

景観

景

観

中学一年

雨宮春聲先生書

敬愛

敬

愛

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



し
自

ぜん
然

小学五年

藤井良泰先生書



どう
銅

ぞう
像

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

9月25日正午必着

秋雨

あき
秋

さめ
雨

小学三年

細谷春誠先生書

道理

どう
道

り
理

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ふ え 小学一年・幼年



ふと い

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

9月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

ブナの森林が広がる山
には大きな池がある

小学五年

澄みきった空気が
天地に流れている

小学六年

雲ひとつない日本晴れ
線でつながる海と空

中学

雲の切れ間に現われ
た鏡のように光る月

一般(級位)

ひぐらしの聲のうちより暮れ初めて雲しづかなりたそがれの山(松平定信)
めて雲の切れ間に現われ
た鏡のように光る月

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

色	とりどりの花が
風	にゆれる光けい

小学四年

草	むらからきこ
え	る虫たちの声

小学三年

ま	ぼろしの魚が
す	む池がある

小学二年

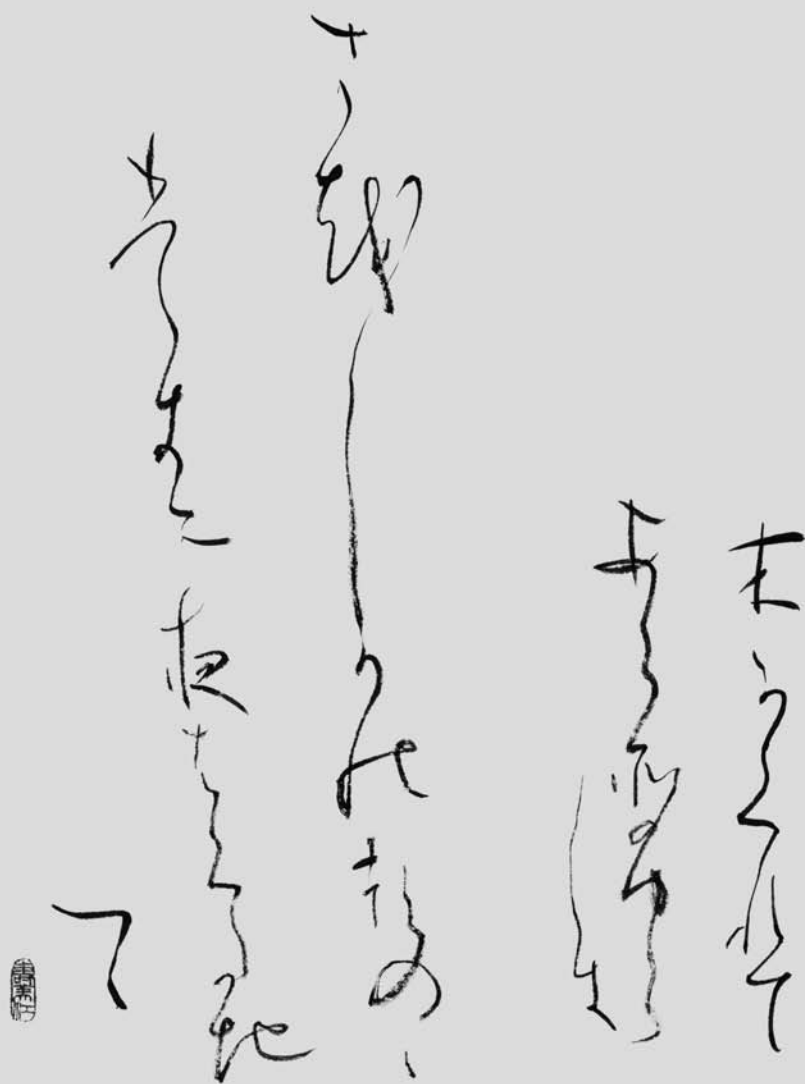
う	みはひろい
な	大きな

小学一年

か	えるがぴよん
と	はねましました

幼年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

木^こが^可く^可れ^可て あ^所ら^布そ^支ふ^越ら^可し^能き さ^都を^のし^悲か[、]の^支ひ^二び^一き^夜は^者く^多た^地ち^つつ (会津八一)